

支援プログラム					
営業時間		9:00～18:00		送迎の有無	有
法人理念		子どもや高齢者が安全で安心して暮らせる、共生社会の実現を目指します。			
支援方針		「自立」に向けて、学校でも家庭でもない第3の場でスタッフやお友達との主体的な活動を通して、社会に対しての自信、葛藤し調整する力をつけていくことを目的として、事業所毎に5領域に則した活動を提供していきます。 ※自立とは：自分で何でもできることではなく、必要な支援や援助を受けつつ、社会に対しての信頼感を育み、興味関心を元に主体的に社会活動へ参加していくことです。			
支援内容					
		低学年	高学年	中学・高校生	医療・重心
5領域	健康・生活	ご家庭・学校と連携し生活リズムを整えていきます。安心して過ごせる場所を提供します。	自分と他者の心身を大切にすることをテーマに、清潔・調理・性教育等について学びます。	自分と他者を大切にすることの意味・具体例を、SSTや同年代の仲間とのやりとりなどの実体験を通じて学びます。	適切な医療的ケアを行い、安心安全な生活が送れるよう学校・家庭と連携していきます。
	運動・感覚	季節に合わせたゲームやサーキット、製作、感覚遊び等満遍なく提供し楽しく体験を積み重ねていきます。	楽しく主体的に身体を動かし活動する中で、様々な動きや感覚が育つよう活動を提供します。	制作や就労準備課題を通じ、目と手の協応・微細運動を行います。また、外遊びや外出などで身体を動かす機会を作ります。	ストレッチやマッサージ等を活動に組み込み、楽しく身体を動かします。自主的な動きを引き出せるよう環境設定を行います。
	認知・行動	スケジュールの掲示やタイマー等視覚的にわかりやすくし、納得して行動できるようにします。	子どもたちの興味関心に基づき、様々な知識や社会的なルールやマナーを視覚的に学びます。	個々の得意分野を深めるだけでなく、全体活動の流れにも意識を向けられるよう、視野を広げます。	個々に合わせた提供の仕方を工夫し、自発的な発信を豊かにできるよう支援します。
	言語・コミュニケーション	安心して自分の気持ちを発信できるように、それぞれに合わせた発信の仕方を一緒に探していきます。	自分の気持ちを主体的に安心して伝えられるよう言語だけでなくツール等も使用し支援します。	喜・楽の表現を深めるとともに、怒・哀の感情と向き合い、公の場で適切に他者に伝えるための方法をともに探していきます。	自発的な発信と言葉が結びつくよう接します。発信する喜びを知る事ができるよう積み重ねていきます。
	人間関係・社会性	見守りの中で、楽しく人と関われる体験を積み重ねていきます。簡単な当番の仕事を通して自信へと繋がめます。	愛着信頼関係を基盤とし社会に対して信頼感を持って主体的に活動していけるよう支援します。	自分の役割を見つけ、果たすことで、卒業後の人生の基礎となる自己肯定感・有用感を養います。	集団の力を活用し、他者との関わる場を多く提供します。公共の場での活動を多く取り入れ、経験を増やします。
地域支援・地域連携		学校等のお子さんに関わる外部機関と必要に応じて連携し、統一したより良い支援方法を提案、共有していきます。			
移行支援		お子さんの年齢や特性に合わせた支援の中で、安定して主体的に社会活動に参加していけるよう支援します。			
家族支援		モニタリングだけでなく、ご家族からの相談は随時受け付け対応していきます。 支援内容について専用アプリで共有し、統一した支援が図れるよう連携していきます。			
職員の質の向上		虐待、防災、感染症等、法令を遵守し支援の質を向上していけるよう内部・外部共に研修を定期的に開催していきます。			
主な活動例		放課後タイムスケジュール		学休日タイムスケジュール	
		13:30ー下校時間に合わせて送迎開始 自由活動・集団活動 15:00ー始まりの会、集団活動 16:00ーおやつ 16:15ー自由活動 16:40ー帰りの会 17:00ー送迎開始  ※お子さんの下校時間により前後します		10：00ー自宅へお迎え開始 11：00ー自由活動・集団活動 12:00ーお弁当 13：00ー食休み、午後から利用児の自宅お迎え 14:00ー始まりの会、集団活動 16:00ーおやつ 16:15ー自由活動 16:40ー帰りの会 17:00ー送迎開始	